

## りんご「はるか」に対する 摘花剤・摘果剤の効果と果皮への影響

### 【概要】

- 「はるか」は、果実袋により果皮を保護した有袋果が「冬恋」のブランド名で販売されています。開花・結実量が多い特性があり摘果に多大な労力を要することから、省力的な摘果方法として、摘花剤・摘果剤の効果を確認しました。
  - 「はるか」に対する摘花剤の効果は高く、落花程度は石灰硫黄合剤>エコルーキーの順となります(図1)。また、摘果剤よりも早期に効果が認められることから、散布により果実肥大促進も期待できます。
  - 「はるか」に対する摘果剤は、中心果横径8~9mm、満開2~3週間後散布において効果が認められません(図2)。
  - 「はるか」に対する摘果剤の散布は、気象条件や樹齢等により過剰落果する恐れがあるため、**効果が高く安定している摘花剤を優先的に使用してください。**
- 「はるか」は果皮にサビが発生しやすい特性があるため、摘花剤・摘果剤の散布による有袋果における果皮への影響を確認しました。
  - 「はるか」は、摘花剤・摘果剤の散布により果面サビが発生することがあり(図3)、系統出荷時に等級区分されますが、販売上大きな問題とはなりません。

### 【試験データ等】

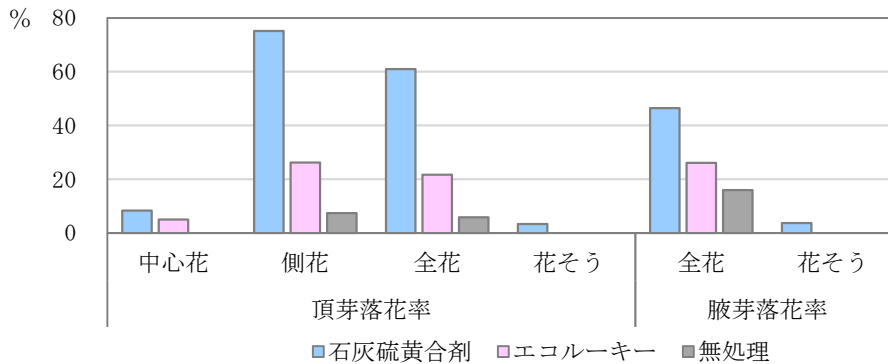


図1 摘花剤散布による落花率 (R5)



図3 「はるか」の果面サビ

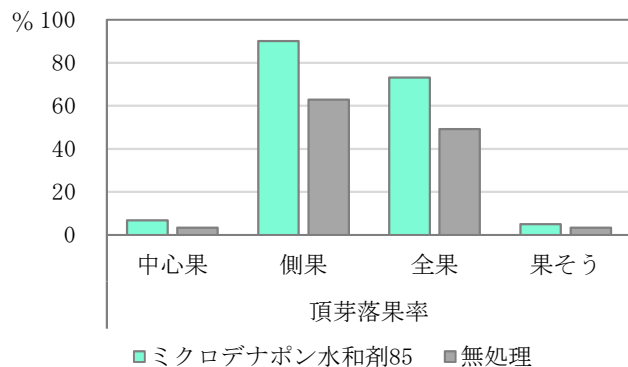


図2 摘果剤散布による落果率 (R4)

### 【試験区の構成】

試験区	処理濃度	処理時期	摘果剤処理時 中心果横径
石灰硫黄合剤	100倍	満開日及び 満開3日後	—
エコルーキー			—
ミクロデナポン水和剤85	1,200倍	満開2週間後	8.1mm
無処理	—	—	8.0mm

【令和5年度成果】りんご「はるか」に対する摘花剤・摘果剤の効果と有袋果における果皮への影響 (R5-指-16)